

評価領域における質リテラシー の醸成に関する現状と課題

関口正司（九州大学大学評価情報室）

質保証という観点から見える課題

(1) 制度的要因による課題

- 単位の実質化～法令(大学設置基準)を実態に合わせて改定すべき
- 15コマの外形的強制～弊害が多い
- 認証評価と法人評価の役割や機能に関して整理が必要

(2) 成果への過剰な期待や要求

- 制度改変による成果の劇的変化への期待
- 質を持続的に確保し保証している地道な努力が注目されにくい

(3) 手段への本末転倒的な注目

- 改善のための手段(例:授業評価、教員業績評価)の実施状況だけを問い、効果や本来の目的(教育の質の向上)を問わない傾向
- 特定の文化的文脈の中で相互に関連しているカタカナ仕組(FD、GPA、シラバス等々)を、バラバラに取り上げる傾向

(4) 評価項目の関連性や優先順位が見えにくい

- 特に3ポリシーの相互関連は、質保証にとって決定的に重要
- すべての大学に求めるべき大枠や基盤的要件や、各大学が状況に応じて取り組むべき施策の具体的なレベルを階層化した項目設定が必要

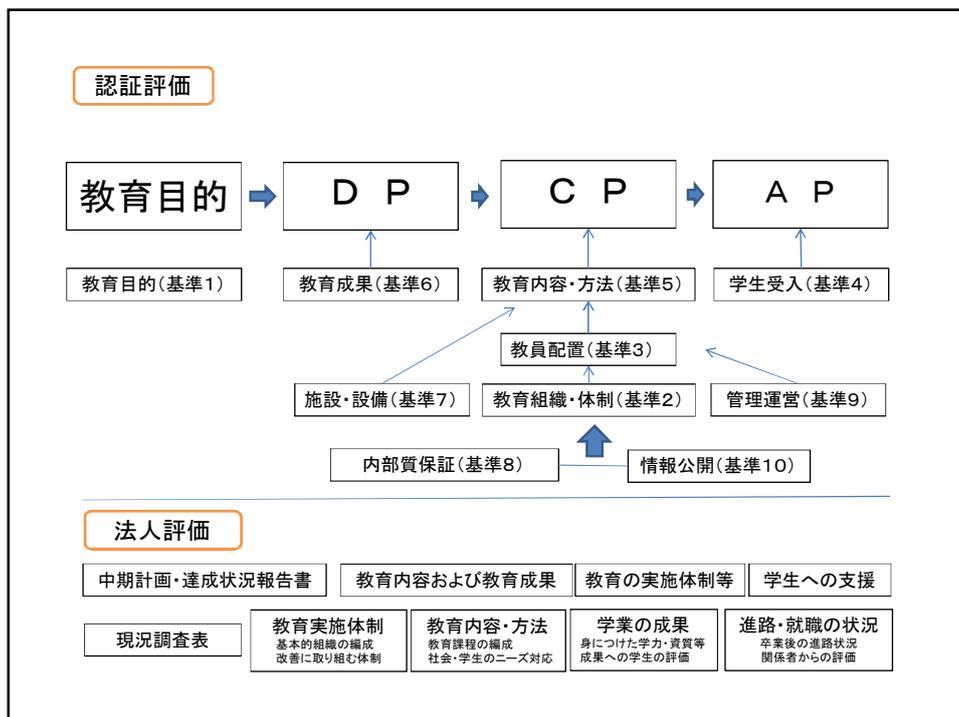
例) 内部質保証 > 学修成果の確保
> 単位の実質化 > シラバス

本務校での認証評価受審に向けた作業過程で得られた二つの成果

1) 3ポリシーを各部局や教育プログラム実施主体で、統合的に(統合的ということが不可欠)考えるのが重要だという点で、全学的な理解と合意ができたこと。「質保証」という抽象的でわかりにくい表現に含意されている課題は、3ポリシーを学生や社会に対してわかりやすく提示しつつ、それを着実に実現することだと、具体的に理解されるようになったこと。

たとえば言えば、レストランのお品書きをわかりやすく示し、さまざまな取組を通じてお品書き通りのものを実際に提供する。また、そのことを明快に顧客に説明する。――これが質保証だということ

→ 3ポリシー＝構造化された評価項目のコア部分



2) 3ポリシーを基軸とした評価項目の構造を念頭に置いて、評価結果を裏付けるデータをわかりやすく自己評価書評価書書式の中でリスト化し、各部署で収集蓄積をしやすくしたこと。

<全体に共通する留意点>掲載資料における学部・学府の取組等の一覧表の作成方針について
 ○一覧表には、ウェアハウスに入力された自己点検・評価文を整理して記載しています。ウェアハウスに添付された数値データ等(Excelファイル等)についての分析は、各部署の具体的な状況を踏まえる必要があるため、それぞれの学部・学府をお願いします。
 ○一覧表で空欄になっている部分は、それぞれの学部・学府の実情に即してできるだけ具体的な記述をお願いします。「○○○という取組を行っており、○○○という成果が上がっていることから、適切である」等、具体的な内容と解釈(自己点検・評価)を示した記述をしてください。
 ○それぞれの現場の実情を踏まえたすぐれた自己評価書が提出できるよう、あらためてご協力をお願いする次第です。
 ○表形式のデータについて、ピンク色のセル(観点5-1関係)は記入が必須の項目です。

観点5-1-①: 教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)が明確に定められているか。

○資料5-1-①-C 教育目的とカリキュラム・ポリシーの関係において特筆すべき事項

【記入担当: 全学部】

<記入上の留意点>

○【出典】大学評価ウエアハウス: 観点 5-1-①-1 自己点検・評価文、観点 5-1-①-1b 教育目的とカリキュラム・ポリシーの関係において特筆すべき事項に関する資料

○教育目的との関連を踏まえて、必ず記入してください。また、特筆すべき内容を具体的に記入してください(参考: 教育学部、医学部 等)

○表形式のデータについて、ピンク色のセル(観点5-1関係)は記入が必須の項目です。

学部名	教育目的とカリキュラム・ポリシーの関係において特筆すべき事項
文学部	○教育目的のうち「人文学的教養と知性を身につける」点を受けて、カリキュラム・ポリシーでは、教育課程の編成及び実施方法に関してコアセミナー・人文科学基礎などの人文学全般の理解を目指した導入科目を1年次に行うという工夫をしている。
教育学部	○教育目的の「人間の発達と形成を軸とする総合人間科学」を受けてカリキュラム・ポリシーでは、教育課程の編成及び実施方法に関してフィールドワークや実験・実習や討論などの体験重視の方法を取り入れる工夫をしている。
法学部	○本学部アドミッション・ポリシーに掲げる「教育理念」にもとづき、法学士の授与に値する学識能力を備えた人材育成に向けて、入門・基礎・展開科目の積み上げ型履修を柱とする学部専攻教育を行っている。
経済学部	○ 【コメント: 教育目的との関連を踏まえて、できるだけ具体的に記入してください】